

給食だより

宇美町立宇美東小学校
令和7年 1月号

がっこうきゅうしょく 学校給食について知ろう

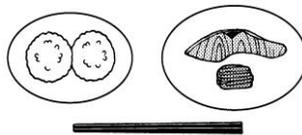
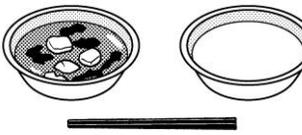
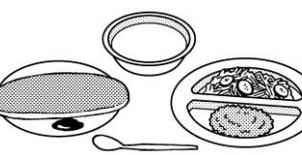
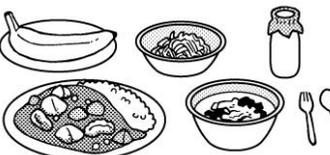
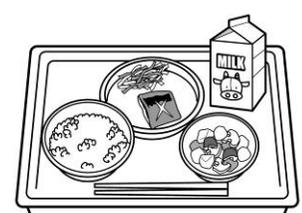
あたら いちねん はじ
新しい一年が始まりました。3学期も安全でおいしい給食づくりに努めてまいります。

さて、みなさんがいつも食べている給食は、いつから始まったのか、なぜ始まったのか知っていますか？学校給食の歴史や役割について、振り返ってみましょう。

がっこうきゅうしょく はじ 学校給食の始まり

がっこうきゅうしょく めいじ ねん
学校給食は、明治22年(1889年)、山形県の忠愛小学校で、貧しくて昼食を用意できない子どもたちのために、無償で提供されたのが始まりとされています。

がっこうきゅうしょく れきし 学校給食の歴史

<p>明治22年(1889年) 初めて出された給食の献立は「おにぎり、焼き魚、つけもの漬物」でした。</p> 	<p>昭和16年(1941年) 戦争が始まり、食べ物が不足するようになり、給食を続けることが難しくなりました。</p> 	<p>昭和22年(1947年) 外国からおくられた物資によって給食が再開されました。</p> 
<p>昭和27年(1952年) 全国の小学校で、パン、牛乳、おかずがそろった完全給食が始まりました。</p> 	<p>昭和51年(1976年) 昭和の時代に比べてメニューの幅が広がりました。</p> 	<p>現在 現在は栄養バランスがよく、献立の種類も増えました。</p> 

がっこうきゅうしょく やくわり 学校給食の役割

がっこうきゅうしょく えいよう
学校給食は栄養バランスがよく、子どもたちの心身の発達や健康を支え、食に関する指導をするための教材になっています。また、偏った食生活、肥満傾向など、子どもたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化している中で、学校給食は子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割をもっています。



がっ か にち 1月24日~30日は「全国学校給食週間」

がっこうきゅうしょく めいじ ねん はじ
学校給食は明治22年に始まって以来、各地に広がっていききましたが、戦争の影響などによって中断されました。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に、学校給食の再開を求める国民の声が高まるようになり、ララ(アジア救済公認団体)から給食用物資の寄贈を受け、昭和22年1月から学校給食が再開されました。昭和21年12月24日に、物資の贈呈式が行われ、それ以来、この日が学校給食感謝の日と定められています。しかし、12月24日は多くの学校が冬休みになるため、1ヶ月前の1月24日から30日までの1週間を「全国学校給食週間」としています。

がっこうきゅうしょく こんだて
給食の献立では学校給食週間に合わせて、明治22年に初めて出された給食「焼き魚」や、昭和の時代に出されていた「すいとん」、郷土料理や世界の料理などを取り入れます。



けんしょく し 「検食」を知っていますか？

けんしょく とは、児童が食べ始める30分前までに、定められた責任者(校長など)が食べながら確認することです。給食の量が適当か、異物の混入や異常がないか、味付けや彩りなどを確認しています。

